

運動部だより

8号

明星中学高等学校
運動部会発行

平成29年5月22日(月)

高校 陸上

祝 関東大会出場権獲得

女子800m ヒリアー東京都4位

5月20日・21日、駒沢陸上競技場で東京都高等学校総合体育大会が行われ、支部予選を勝ち上がった2年生の関谷、男子110mハードル、1年生のヒリアー、女子800mが出場した。110mハードルは21日に予選が行なわれ、関谷は自己ベストを更新するも決勝進出はならなかった。800mの予選は20日に行なわれヒリアーは7位で決勝進出となった。21日、決勝、8人で争われる。上位6人に関東大会出場権が与えられる。スタートすると1人飛び出し、2番手グループが一かたまりとなりレースが進む、ヒリアーはインコース、外側に何人か走り前に出れない状態、レース前、三村監督から「最後の直線100m勝負」と言われていた。焦らずそのまま我慢して走り続けると残り300m、外側の選手が脱落、すかさずヒリアーは外に飛び出しトップギヤに入れた、6位から4位へ、3位の選手に迫る、応援団は狂喜、声を嗺らした「ヒリアー・走れー!!」2分14秒61、4位入賞、関東を決めた。高校1年、入学して1ヶ月、上級生を相手に堂々の東京都4位、三村監督は「コースどり、駆け引きを覚えればさらに伸びる。ゴール後にも余裕があった」と嬉しそうに話された。硬式テニス部と兼部するヒリアーはレース後、猪狩監督に連絡、祝福を受けた。二東のわらじ、今後、本人も悩む事だろうが、まずは関東大会出場、心から祝福する。伝統のある陸上部だが女子での関東大会出場は初めである。関東大会で6位入賞すればインターハイ出場となる。インターハイ出場、夢は膨らむ!!頑張れ陸上部!!頑張れヒリアー!!

中学女子 硬式テニス

祝 関東大会出場権獲得

ダブルス 蝦名・野口ペア シングルス 蝦名

5月20日・21日、駒沢オリンピック公園テニスコートで東京都中学校テニス選手権個人、ダブルス・シングルスが行なわれた。20日、行なわれたダブルス、蝦名・野口ペアは1・2回戦を順当に勝ち上がり3回戦、第1シードと対戦、健闘するも惜敗、順位決定戦に回る。決定戦では日大三中と対戦、力を遺憾なく発揮、関東出場権を獲得した。21日、シングルス。蝦名は1・2回戦を難なく突破。3回戦、シード校の日野四中、昨年度関東大会に出場している強敵と対戦、出だし相手ペース、0-2とリードされる。しかし、蝦名は慌てなかった。相手は蝦名の後ろをつくコートギリギリを狙う高いボールを返してきた、蝦名は走り、ジャンプすると背面バックボレーで打ち返す、相手は一步も動くことが出来ずボールがコートを超えた。5-2完全に試合の主導権を握る。相手は蝦名の強烈なストロークに対して苦し紛れにロブでつなぐ、最後は蝦名の強烈ドライブ・ボレーが炸裂、ボールがコートに突き刺さった。6-3勝利、関東大会出場権を獲得した。荒木も燃えた。1回戦、タイプレクまでもつれるが7-6で勝利。2回戦、山脇学園に勝利。3回戦、敗戦となるが敗者復活戦へ回る。あと一步、あと一つ勝てば関東大会出場権獲得だったが、悔しい敗戦となった。野口、2回戦進出。池亀、1回戦敗退。頑張れ硬式テニス部!!応援している!!

高校女子 硬式テニス

悔しい東京都16位

5月20日、有明テニス森テニスコートで東京都高等学校テニス選手権大会団体戦が行われた。4回戦を勝ち上がった明星高校は、5回戦、ベスト8シードの明大中野八王子と対戦した。ダブルス大久保・高橋ペア、2-0とリードするがまさかの展開、2-5と逆転されピンチ、猪狩監督が吠える「女子美大との試合を忘れないで、貴方達ならできる」この言葉に二人は覚醒、7-5で大逆転の勝利を手にする。シングルス西村は6-0で圧勝。榎本は相手校エースと対戦、白熱した試合展開、どんな球にも喰らいつき相手コートに返した。体力勝負、根負けした相手がミス、6-3で勝利。シード校を3-0で破りベスト16を決める。あと一つで関東、6回戦が始まった。文京学院と対戦。ダブルスが敗戦。シングルス西村が勝利。榎本が勝てば関東出場、重圧のかかる中で榎本が果敢に戦った。4-4一進一退、互角の試合展開、その時思わぬ事態、榎本がおかしい、足がふらつく、熱中症か、この日も30度を越える炎天下で2試合目、第1試合でもラリーの応酬、太陽が榎本の体力を奪っていった、力を振り絞る榎本、応援団も絶叫、あと一步、あと一步、悔し涙が頬をつたう。6-4で敗戦、関東大会出場権獲得はならなかったが、女の意地を見せた試合だった。次こそはと願う。

高校男子 バスケット

全国大会東京都予選2回戦

5月21日、明星サブアリーナで全国大会東京都予選2回戦が行なわれ国際基督教大高校と対戦した。出だしから相手を圧倒、白鳥・五味・田中と連続して3点シュートを決め、安藤・石坂・長柄が速攻で走り、ゴール下では廣澤・奥山がきっちりリバウンドを支配、相手に付け入る隙を与えなかった。3年生にとっては最後の公式戦、一つひとつを大切に天辺を目指す。頑張れ!!

明星99-63国際基督教大高

中学 陸上

東京都中学校地域別競技大会

5月20日・21日、江東区夢の島競技場で東京都中学校地域別競技大会が行われた。凄まじい酷暑、選手達は調整に困難を極めた。各選手共に健闘するが各種目とも都大会出場はならなかった。「今回は都大会出場者は無しでした。18年連続都大会出場は次回へ持越しです。6月10日の大会でリベンジ、鍛え直します」と佐藤監督は話した。以下結果。

【男子】2年100m	西山 14秒36	共通200m	鈴木 28秒03
	大塚 14秒43	共通800m	山本 2分19秒44
	共通3000m	横田 10分44秒55	三村 2分33秒02
	今平 10分11秒70		

【女子】2年100m	石坂 15秒15	富田 15秒56
------------	----------	----------

中学

サッカー

第9ブロック夏季大会

5月21日、三鷹中等グラウンドで第9ブロック夏季大会予選リーグ行なわれ、前大会実績リーグ内1位の府中二中と対戦した。明星はセンターバック増田を軸に試合に臨んだ。前半、フリーキックのチャンスに増田がゴールを狙う。これが見事に決まり1-0とリードした。後半、相手に必死に攻められるが中盤までしっかり守りるが、残り時間15分で1点を入れられ、このまま引き分けかと思われたが続けて2点目を入れられ敗戦となった。しかし、トップクラスのチームとほぼ互角の試合展開。次の試合に期待が膨らむ。頑張れサッカー部!!

高校女子卓球

関東大会予選大会

4月29日、関東大会予選大会シングルス戦が駒沢体育館で行なわれ大窪がAクラス2回戦進出、東京都ベスト64となった。掛本はCクラスでベスト32となった。30日、都立武蔵野高校体育館で関東予選団体戦が行われた。女子卓球部を3年生は内野の一人、ここまで一人部員を引っ張ってきた。団体戦、3回戦を勝ちあがり4回戦、桐朋女子と対戦した。シングルスから試合が始まる。大窪が勝ち1勝、他の2つのシングルスが負け、1勝2敗で内野の試合となった。相手に2ゲーム取られ追いかける展開、気迫で追いつきゲームオールとした。1点を取るのに30本以上のラリーが続く息の詰まるような展開、内野は最後まで力を振り絞った。あと一步と相手を追い詰めたがボールがエッジに当たる不運もあり惜敗となった。3年生1人で頑張った内野の最後の公式戦が終わった。3年、内野、2年、大窪・吉野・掛本・諏訪の頑張りに拍手を贈る。内野先輩、お疲れ様でした。ありがとう！！

団体戦

- 1回戦 明星3-1立川国際
- 2回戦 明星3-0豊島岡
- 3回戦 明星3-1日大三
- 4回戦 明星1-3桐朋女子

高校男子卓球

関東大会予選

4月16日、多摩工業高校他体育館で関東大会予選ダブルス戦が行われた。吉村・都筑ペアが5回戦進出を果たした。有賀監督は「シード選手との戦いまで進出できるようになった。後は上位校にどこまで食い込めるかが課題である」と話された。頑張れ！！ 以下結果。

4回戦、岩田・松村、3回戦、多内・大橋、2回戦、早川・木村、生沼・宮崎

4月23日・29日、駒沢体育館他で関東大会予選シングルス戦が行なわれ、2年の都筑が6回戦進出、東京都ベスト128位に進出した。5回戦、吉村、4回戦、生沼、塩野、宮崎、3回戦、鈴木、岩田、多内、松村、王、2回戦、大橋、木村、川上となった。

5月3日、新宿コズミックスポーツセンターで関東大会予選団体戦が行われた。前大会東京都ベスト16進出を果たした明星、さらに上を目指し挑戦した。1回戦シード、2・3回戦、実力者がそろそろ上水・白鷗と対戦、吉村・都筑ペアがダブルスで勝利、チームの勝ち上がり貢献した。4回戦突破ベスト16となった。ベスト8決定戦は日大豊山と対戦、ダブルスが1ゲーム取り波に乗りかかるが、先に開始されたシングルスが敗退、試合途中打ち切りとなった。悔しい敗戦だが、2大会連続ベスト16「チームは進化している」と有賀監督は話された。吉村・都筑・岩田・鈴木・塩野・松村、の頑張りに拍手！！

団体戦

- 2回戦 明星3-0都深沢
- 3回戦 明星3-1都上水
- 4回戦 明星3-1都白鷗
- 5回戦 明星0-3日大豊山

中学男子卓球

第9ブロック春季卓球大会

5月6日・7日、府中第二中学校体育館で第9ブロック春季大会、団体戦・ダブルス戦・シングルス戦が行われた。団体戦、細野・乙幡・小泉・小川・和田・中山が踏ん張りベスト16位進出となった。ベスト8決め府中七中戦では乙幡が相手エースとセットオールの大接戦を繰り広げる活躍、あと一步と相手を追い詰めたが惜敗となった。敗者復活戦、多摩大会出場決定戦に回るが惜しくも敗退、多摩大会出場はならなかった。ダブルスは小泉・和田ペアがベスト32進出となった。次はもっと頑張る事を誓う！！頑張れ！！卓球部、応援している！！

中学男子野球

練習試合2試合

5月21日、府中第一中学校グラウンドで練習試合を2試合行った。夏季大会前最後の練習試合、お互いに大会である可能性があるため、手の内を隠しながらの試合となった。第1試合は打撃重視。鎌田のタイムリー2ベース2本による4点、桜田翼と昂のタイムリーヒット、犠牲フライで6点を取るが、要所で守備が乱れて失点を重ね6-7でサヨナラ負けとなった。第2試合は1試合目をそのまま引きずり、2回までに7失点。3回以降は守備も安定した。エース上條も調整登板、2回を無失点と好投。「2連敗したが、夏の大会に向けて明るい材料は多かった」と鈴木監督は話された。秘策ありや。隠した手の内は？最終秘密兵器は完成まぢか？野球部の快進撃を期待する！！がんばれ野球部！！

◆◆◆私はミタ◆◆◆

3年生の引退試合が近づく、最後の公式戦、力を出し切り納得いく結果を手にして欲しい。金曜日、体育館の隅に3年生のバスケットボール部員が集まっていた。マネージャーの山倉から3年生へバスケットボールの形をしたキーホルダーが渡されていた。オレンジ色のボール、背番号が縫い付けてあった。全て手作りだ。一人で作ったのだろう。頭が下がる。「インターハイ予選、力を全て出しきって欲しい」マネージャーの気持が伝わる。21日の試合も快勝した。マネージャーの思いが伝わったのだろう。選手のさらなる奮起に期待する。◆◆◆私はミタ◆◆◆ 縁の下の力持ち、部員の為に働くマネージャーの姿を！！

中間テスト1週間前！！

文武両道、準備万端、用意周到

試験中も練習、大会のあるクラブもあります。

しっかり準備して

勉強も1番！！ クラブも1番！！

みんな頑張ろう！！

